

# 資源・素材 2020 (仙台)

## 「企画講演」セッション一覧

1 / 2 ページ

---

### 招待講演

#### 【亜鉛・鉛製錬の現状と今後の展望】

亜鉛、鉛に関する湿式製錬、乾式製錬、生産技術、リサイクル技術、プロセス制御、操業、設備等について幅広く議論を行う。

### 招待講演

#### 【海底・海底下の資源開発と空間利用のブレークスルー】

海底熱水鉱床、レアース泥、メタンハイドレート等の海底・海底下資源開発の商業化実現に向けては、経済性の確立という大きな課題が存在する。また、化石燃料利用の継続と CCS の実現を図らなければならない局面も近未来に予想される。

これらの大きな課題に「資源工学」、また、「海洋工学」という視点からどのようなブレークスルーを提案するのか、両者の視点を融合することで、新たな方向性を見い出せないかについて議論する。

### 募集型企画

#### 【資源探査に関する研究の動向と大規模データプロセッシング】

鉱物・エネルギー資源の探査に関する最新の技術動向や基礎研究、さらに、地球・環境科学および数理情報科学を含む幅広いテーマについて議論し、資源・素材研究における新たな価値創造を目指す。

### 募集型企画

#### 【JOGMEC 金属資源の生産技術に関する基礎研究の成果】

JOGMEC は、金属資源系技術者の人材育成に貢献するとともに、金属生産技術への新たな知見を創出するため、金属資源の生産技術に関する基礎研究を実施しており、本企画講演では同研究の成果等を発表する。

### 募集型企画

#### 【ゼロエミッショントリニティ社会構築にむけた CCS/CCUS 技術開発】

ゼロエミッショントリニティ社会構築に不可欠な CO<sub>2</sub> 回収・貯留 (CCS) 技術および CO<sub>2</sub> 回収・利用・貯留 (CCUS) 技術における最新の研究動向、ならびにそれらに関連した地化学、地力学、水理学等における幅広いテーマについて議論し、今後における CCS/CCUS の技術展開に資する知見の提供をめざす。

# 資源・素材 2020 (仙台)

## 「企画講演」セッション一覧

2 / 2 ページ

---

### 招待講演

#### 【ポストコロナ新時代の非鉄金属製鍊研究への期待と展望】

新型コロナウィルス禍で、Web会議の有用性が認識され、情報化社会へ一段と加速し、一気にSociety 5.0時代の到来が予想される。Society 5.0時代における情報機器を基盤とする社会を支えるのは、プラスチックでもバイオ素材でもなく、間違いなく非鉄金属素材である。一方、新型コロナウィルスの蔓延は、行き過ぎたグローバリゼーションに警鐘を鳴らし、我が国の資源確保と製鍊技術の維持発展の重要性を再認識させた。本企画講演では、ポストコロナ時代の非鉄金属製鍊業における課題抽出を行い、新たな方向性について広く議論することを目的とする。

### 募集型企画

#### 【未来の天然鉱山・都市鉱山3】

天然資源の賦存状況や様々な地政学的なリスクを考えたとき、鉱物資源の供給を安定的かつ持続的に確保することはますます困難になりつつある。海外からの精鉱・リサイクル原料を安定的に調達するにあたって、日本の持つ高度な技術を資源供給国の状況に応じて適切に展開させ、国内での生産プロセスを含めた頑健なネットワークを構築することは有意義である。

本企画では、世界やアジアの国々での金属鉱物資源の需給バランス、天然・都市両鉱山からの資源生産の現状と将来について、パネルディスカッションを行う。

### 招待講演

#### 【未来のひかり～次世代放射光～】

東北大・青葉山新キャンパス構内に、昨年度造成が始まり、今年本体建設工事が始まった、次世代放射光施設。軟X線領域では、従来の放射光施設の100倍以上明るい、世界で最も進んだ放射光施設。

本企画セッションでは、2023年に「未来のひかり」を発する、この施設の利活用について、資源・素材学会的な見地で迫ります。学界・大学の役割、施設の概要、そして利活用の例などを紹介する。

以上 五十音順